



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより



令和5年度 第11号
令和6年 3月4日

子供が「変身！」するとき

校長 水野 裕司

2月27日、28日の二日間で、5年生がスキー教室へ行ってきました。子供たちが考えたためあては、「**け**じめをつけて **し**ぜんを楽しみ **き**ょうりよくしあって仲よくしよう」でした。子供たちからは、「『けしき（景色）』を守ろう」という言葉が何度も聞かれ、高い意識をもって参加していることがよく分かりました。

移動教室の1日目の朝は、出発前の興奮で子供たちは落ち着きません。それを引き締めるのが、例年の私の役割の一つなのですが、今回は、そのような必要もなく、落ち着いた姿でのスタートでした。

スキー場では、経験の有無に合わせてグループに分かれ、インストラクターの指導を受けました。ここ数年は、暖かい中でのスキー教室が続いていましたが、今年は、しっかりと寒気に覆われた中でのスキー教室でした。リフトの上で冷たく強い風に吹かれながら、「スキーというのは、冬のスポーツだった」ということを久しぶりに思い出させられました。そのような中でしたが、子供たちは、元気に練習しました。初めはブーツとスキー板に慣れず、立っていることも難しい

状態の児童もいましたが、参加者全員が、諦めることなく挑戦し、午後になると見違えるように上達していました。二日目の閉校式では、「スキーが 小すき、中すき、大すきのどれになりましたか。」と質問すると、殆どの児童が「大すき」と答えました。これは、「すぐに諦めないで、もう少し頑張ってみよう」という担任の日頃の粘り強い励ましの成果が、簡単に諦めないという姿に現れたと考えています。子供の成長は、目に見えないくらい少しずつの時もあれば、目を見張るように変化するときもあります。私たち大人が焦ることなく、粘り強く子供たちにかかわり続けることの大切さを今回のスキー教室で改めて感じる事ができました。

さて、3月は1年間のまとめの月です。学習・生活の両面でお子さんの成長や課題を振り返り、成長したことはしっかりほめて自信をもたせ、課題は確実に克服できるよう励ましながら、残りの一か月を有意義に過ごしていきたいと考えています。ご家庭でもお子さんと一緒に話し合う機会をつくっていただければと思います。

昨年度より、修了式の後に、異動する教員のお別れの会を行っています。例年は、4月の始業式に発表し、日を改めて離任式を行っていましたが、教員と子供たちが学年の最終日にしっかりとお別れできるようという趣旨で変更しました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。